

茨城県

『医師向け病児保育支援体制構築事業』

2024年7月発行

総合病院 土浦協同病院

病児保育室が完成しました



— DETA —

【医師数】261人 【総病床数】800床

【入院患者数】527人/日

【外来患者数】1881人/日

理念

地域の人々に最善の医療を提供して健康と福祉の増進を図り、同時に職員の幸せも追求することで明るく健全な社会づくりに貢献する。

目標

- ・患者さんが治療を受けたいと思える病院になる。
- ・職員一人一人が働きやすく、やりがいを感じられる病院を目指す。



かねてより念願であった病児保育室の完成を大変喜んでおります。安心して子育てできる職場環境づくりは、病院としての使命であり、特にお子さんの急な体調変化に対応できる病児保育室の確保は喫緊の課題でした。

これからは、当病院の職員宿舎の中の改装した一室にシッターさんを派遣し、勤務中、預かってもらえるようになります。共働き世代、特に女性医師が自分のキャリアアップにつながる仕事を継続していけるよう、応援していきたいと思っております。まだまだ、改善点はありますが、少しでも子育て世代の力になれば幸いです。（広岡 一信 院長）

外来日等の急な発熱時に利用しています。保育ルームに向かうと保育士さんがいつも快く出迎えてくれます。部屋も清潔で絵本やおもちゃが沢山あり、子供も最初は緊張していても、お迎えに行く頃にはとても楽しそうに遊んでいます。病院からの距離が近いので送迎のストレスが少なく、仕事でも近くにいられる安心感があります。突然の依頼でも速やかに対応していただけるので、いざというときに頼れる場所があることで、育児も仕事も心に余裕がもてるため、非常に助かっております。（病児保育室をご利用 東出 理栄子 医師）



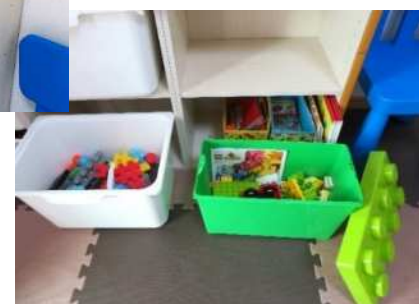
職員宿舎に
保育ルームを作りました



明るい保育ルーム



扉は指はさみガードで
安全対策されています。



年齢に合わせた玩具を用意



トイレには補助便座があります。



防災用具も準備



昨年、庶務課長に着任早々、女性医師より病児保育室の開設について相談を受けました。どこからどう進めれば良いかわからない中、設備や申請方法について医師会の方々にご支援いただき何とか開設へこぎ着けることが出来ました。大切なお子様の体調不良で心配な先生方が安心して働けるように、普段とは違う環境に不安なお子様も少しでもリラックスして過ごせるように、微力ながらお手伝いできれば幸いです。(病児保育室構築に尽力された 田尻庶務課長)

●事業に関するお問い合わせご相談は
〔茨城県医師会
女性医師等就業支援相談窓口〕
0120-107-467 [月~金] 9:00~17:00
※土日祝日及び年末年始はお休みです。
<http://www.ibaraki.med.or.jp/women/>

●医療機関の勤務環境改善に関するご相談は
〔茨城県医療勤務
環境改善支援センター〕
029-303-5012 [月~金] 9:00~17:00
※土日祝日及び年末年始はお休みです。
<http://www.ibaraki.med.or.jp/kinmu-kankyo/>